NEWS RELEASE

2025 年 4 月 25 日
株式会社大和コンピューター

日 ASEAN 農業 ICT パイロットプロジェクト参画について

株式会社大和コンピューター（大阪本社：大阪府高槻市／東京本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 憲司、以下「大和コンピューター」）は、一般財団法人 海外通信・放送コンサルティング協力(Japan Telecommunications Engineering and Consulting Service)（理事長：阪本 泰男、以下「JTEC」)、アジアの国々で農業指導の豊かな経験を持つ農家の吉岡達文氏などとともに、インドネシア通信デジタル省が提案するプロジェクト「ASEAN 加盟国におけるデジタルリテラシーのプロファイリングと農業分野におけるデジタル能力開発」に参画しました。

本プロジェクトは、ASEAN10 ヶ国＋東ティモールが参加するもので、日本側主催者は JTEC、インドネシア側主催者は PT テレコム(PT Telekomunikasi Indonesia Tbk)であり、日 ASEAN 統合基金（JAIF）の資金を活用し、①ASEAN 各国農家のデジタルリテラシーレベル（低、中、高）の分析、スキルガイドラインの開発、農業エコシステムにおける ICT の利用を改善するトレーニング（PT テレコムが主幹)、②インドネシアで実証実験（JTEC が主幹）を実施します。日本における最新の IoT インフラストラクチャを使用した無線政策の事例とベストプラクティスを共有し、ASEAN 加盟国の農業部門における高度な ICT の導入をサポートするプロジェクトです。

農業・食料産業は、ASEAN 地域で最も重要な産業の一つです。ASEAN 諸国の人口は年々増加しており、農業の生産性を向上させる必要があります。しかし、農家の大半は高齢かつデジタルに触れる機会も少ないため、デジタルリテラシーが高くないため、サービスや製品を操作できず、デジタル農業ソリューションを適切に活用できない課題を抱えています。

大和コンピューターは、静岡県袋井市にて、自社農業生産設備を稼働し、土を使わない養液栽培によるマスクメロンおよびトマトの栽培、栽培収量向上に向けた「統合環境制御システム」の構築など、付加価値生産性を高める取組みを多角的に行っています。また、QR コードを活用し農家の栽培活動記録を収集するサービスをミャンマーやインドネシアにて提供した経験も有しています。大和コンピューターは、自社農園で培った生産ノウハウと自社の IoT 技術を活用し、今回は前述の ASEAN 地域の課題を解決する一助として、ASEAN2 ヶ国でも活用実績のあるシンプルな QR コード栽培記録収集サービスの実装支援に取り組みます。日本のみならず、グローバル規模での農業支援にもチャレンジして参ります。

【参考資料】

■インドネシアでの実証サイト

■ASEAN（Association of Southeast Asian Nations、東南アジア諸国連合）

東南アジア 10 か国から成る ASEAN（東南アジア諸国連合）は、1967 年の「バンコク宣言」によって設立されました。原加盟国はタイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの 5 か国で、1984 年にブルネイが加盟後、加盟国が順次増加し、現在は 10 か国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）で構成されています。

■日 ASEAN 統合基金（Japan-ASEAN Integration Fund：JAIF）

日 ASEAN 統合基金（JAIF）は、ASEAN 共同体の構築に向けて統合を進める ASEAN の努力を支援するため、2006 年 3 月に設置された基金。

【お問い合わせ先】
株式会社大和コンピューター　社長室　松宮・中村
TEL：072-676-2221　Email：info@daiwa-computer.co.jp